（別紙）

令和５年度デジタル技術を活用した障害福祉サービス事業所等支援事業　事業報告書

自治体名　**東京都**

【基本情報】

フリガナ	ｼｬｶｲﾌｸｼﾎｳｼﾞﾝﾂﾎﾞﾐｶｲ
法人名	社会福祉法人つぼみ会
フリガナ	ﾗｲﾌｽｸｰﾙｷﾘｶﾞｵｶ
事業所名	らいふすくーる桐ヶ丘
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる１つのみ選択）	
放課後等デイサービス	
職員数（常勤換算数）　【「全職員の月間勤務時間数」／「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】	
5.0 人	
ICT機器等導入完了日	令和5年12月15日

※行・列の追加は行わないでください。

（１）モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
職員間の情報伝達・情報共有	一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい
請求業務	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
勤怠管理	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
シフト表作成	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
給与業務	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。
①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等で対応）
③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等で対応）

（２）モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台　数	備　考
①パソコン	②情報の共有化	Surface Laptop Go 2	4	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。
・情報端末等・・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
・通信環境機器・・・⑦Wi－Fi・ルーター
なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。
①作業の迅速化（支援記録の作成など）
②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
④その他
なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

（３）モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

①　ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D（B×C）	１人あたり業務時間（D／業務従事者	備　考
		A.ひと月当たり発生件数	B.年間発生件数				
①支援記録の作成	2 人	5 件	60 件	60 分	60 時間	30 時間	
⑦その他	2 人	140 件	1,680 件	15 分	420 時間	210 時間	連絡帳の記載
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
		145 件	1,740 件	75 分	480 時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※１及び※２については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。
＜※１＞A．ひと月当たり発生件数の算出方法

①主に個別支援計画の作成　月の平均作成数約5件　※全体の利用者数÷12(月)
⑦連絡帳の記載　月の平均記載数約140件　※月の延利用数

＜※２＞C．１件当たりの平均処理時間の算出方法

① 1件あたり60分　※実際にかかるおおよその時間
⑦１件あたり15分　※実際にかかるおおよその時間

②　ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D（B×C）	１人あたり業務時間（D／業務従事者	備　考
		A.ひと月当たり発生件数	B.年間発生件数				
①支援記録の作成	4 人	5 件	60 件	30 分	30 時間	8 時間	
⑦その他	4 人	140 件	1,680 件	10 分	280 時間	70 時間	連絡帳の記載
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
		145 件	1,740 件	40 分	310 時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※１及び※２については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。
＜※１＞A．ひと月当たり発生件数の算出方法

①主に個別支援計画の作成　月の平均作成数約5件　※全体の利用者数÷12(月)
⑦連絡帳の記載　月の平均記載数約140件　※月の延利用数

＜※２＞C．１件当たりの平均処理時間の算出方法

①PCの処理速度により時間短縮
⑦一人の連絡帳を記載する時間に変わりはないが、今までPCが空くのを待っていた分、全体の時間数は半分以上短縮になっている

年間業務時間数削減率（%）

35.4%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③　ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量（A×12）
		0 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	0 ページ	0 ページ

④　ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量（A×12）
		0 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	0 ページ	0 ページ

年間作成文書量削減率（%）

#DIV/0!

（４）ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

現場は、成長療育システム「HUG」を導入し、利用者の出欠席の管理や利用した保護者との連絡帳のやり取りを毎日行っている。特に連絡帳の記載は一人３０分程度かかり、職員でパソコンを交代で使っている状況なので、同時に連絡帳の入力ができると、かなりの業務削減につながると考えパソコンの導入を推進した。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。
また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果

- ☑ 1　支援記録の作成に要する時間が減った。
- ☐ 2　支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
- ☐ 3　インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
- ☐ 4　利用者の情報を一元管理できるようになった。
- ☑ 5　その他の効果があった。
- ☐ 6　効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

パソコンを待つ時間がなくなり、ほぼ勤務時間内に退社できるようになった。

ソフトウェア導入による効果

- ☐ 1　支援記録の作成に要する時間が減った。
- ☐ 2　支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
- ☐ 3　利用者の情報を一元管理できるようになった。
- ☐ 4　記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
- ☐ 5　勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
- ☐ 6　その他の効果があった。
- ☐ 7　効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

現場は、成長療育システム「HUG」を導入し、利用者の出欠席の管理や利用した保護者との連絡帳のやり取りを毎日行っている。特に連絡帳の記載は一人３０分程度かかり、職員でパソコンを交代で使っている状況なので、同時に連絡帳の入力ができているので、時間効率が格段に上がった。
管理者は、利用者の請求管理等を行っており、月初にはパソコンを請求関係の業務で長時間使用してしまうため、パソコンの台数を増やしたことにより効率化を図ることができた。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、
具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

療育の準備にかけられる時間が増えた。
勤務時間内に仕事を終えられることが増えた。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

（５）ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減	無

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当（※１）	
サービスの質の向上に係る取組への充当（※２）	

（※１）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

（※２）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。